

2023年第4回定例会

調布市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

反対討論

生活者ネットワークは、議案第94号 調布市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例に反対の立場から討論いたします。

コロナ前から現存した格差は、コロナ禍を経て拡大し、今、本当に物価高騰の厳しい影響が市民生活に降りかかっています。そういった市民から負託を受けている私たち議員は、市民生活の現状への公の責務について、市民の立場に立って考え、市民の血税をいかに市民生活の向上、改善に生かすかを考え行動することが期待されている立場だと考えます。

先ほど総務委員会でも御紹介しましたけれども、厚労省の毎月の勤労統計調査というものを見ますと、事業所規模、5人以上の事業所ではパートタイマーの方が32%ぐらい、おおよそ3分の1いらっしゃいます。ほとんどの方が、いわゆる期末手当、ボーナスはもらっていないと思われれます。

さらに、今年夏のボーナスの支給状況を見ますと、部門により差はあるものの、飲食サービス業や生活関連サービス等では6割台の方しかももらっていないと。フルタイムの労働者でも支給されていない人もいます。

一方、議員は年に2回、合計で4.55月分の期末手当が支給されています。調布市特別職報酬等審議会の答申でも市民生活の苦しい状況への言及がありますし、また、今後の経済状況についても楽観視できる状況ではないということが基本的な考え方の中で示されています。

全国的にも議員の成り手の課題というものはありますけれども、現在の調布市議会の議員報酬は他自治体と比較しても比較的高い水準にあり、審議会としては、報酬については全会一致で据置きが妥当だという結論に達したということです。様々な立場の市民から構成される、この審議会から出された客観的な御意見を踏まえても、今このタイミングで議員の期末手当を引き上げることは妥当ではなく、市民の理解を得られるものではないと考えることから、本条例改正に反対をいたします。